

花曇ふるさと俳句大会で生徒の俳句が受賞

農林高校は、「誠実の人となれ」の校訓を自己の生き方の礎として、さまざまな活動に取り組んでいます。また、朝夕と鳴り響く「黎明の鐘」も、鐘の音の中に朝に目標や計画を定め、夕にその反省することで、明日への希望と日々の生活に潤いと意欲高揚に結び付けて50余年、その農林高校精神は現在も受け継がれています。鐘の音を心で聴く間は、静かに黙礼している姿は、現在、忙しい日々のなかで「時間」を大切に考える考えにも結びつけられています。

私たちはこの校訓と伝統を守り、日墓の生活の中で活かしています。この永き伝統の中で農林高校の卒業生である浅川巧氏・石川文雄氏・鳴山草平位氏・福田甲子雄氏など数多くの著名人を先人としてその方の生き方や精神性を学び、自己の生きる力の礎を築くきっかけとするため「先人に学ぶ」教育事業に取り組んでいます。

この先人に学ぶ教育事業として、春休み課題で取り組んだ俳句を、福田甲子雄氏を偲ぶ会でもある「花曇ふるさと俳句大会」に応募したところ、次の15名が入選しました。

令和5年5月20日(土)、南アルプス市の桃源文化会館の桃源閣で行われた第13回花曇ふるさと俳句大会で大会大賞1名、特選3名、秀作11名の作品が紹介され、その中で大会大賞に輝いた2年造園緑地科の鶴田愛華さんが記念品と副賞をいただきました。この日に参加した高校生12名に向けて俳句愛好者から賞賛の拍手が送られていました。

午後には、花曇文化講座として「言葉のちから ～短歌のこと、俳句のこと」と題して三枝昂之氏と西村和子氏による対談があり、この講師の方に農林高校ワイン「17ans ディセタン」がそれぞれの講師に手渡され、美しいロゼの色とワインのネーミングに拍手の波が会場を包んでいました。



受賞者の紹介 桃源文化会館「桃源閣」(南アルプス市)



左側から大会大賞の鶴田さん、その隣3名が特選の中澤君・田中さん・井上さん

○入選者ならびに作品一覧

入賞	作 品	受賞生徒氏名	所属学年・学科
【大会大賞】	ため息で消えぬ雨音梅雨の朝	鶴田 愛華	2年 造園緑地科
【特 選】	あとを追い春一番の風が吹く	中澤 健太	3年 システム園芸科
	夜桜や池の水面に導ける	田中 凧紗	3年 食品科学科
	風に舞うさくらの花がこそばゆい	井上 彩佳	2年 造園緑地科
【秀 作】	目を瞑り感じる風は夏の始	小澤 陽	2年 環境土木科
	もちよってかだいかたづくはるのかぜ	橋本 拓人	2年 環境土木科
	たんぼぼの綿毛が昇る青い空	保坂 七海	3年 システム園芸科
	うぐいすの声と花びら空に舞う	大堀 佳奈	3年 システム園芸科
	クリスマスポインセチアの赤い街	村松 杷奈	3年 食品科学科
	手料理の味が濃くなる花粉症	高野 遥生	3年 森林科学科
	指先がほのかに冷えて春炬燵	中村 真唯	3年 造園緑地科
	風さわる卵の花の咲く帰り道	蛭田 虎之介	3年 造園緑地科
	鯉のぼり風を受けたり流したり	マッケイリュウセイ	3年 食品科学科
	思い出す出会ったあの日桜舞う	名取 るねあ	3年 システム園芸科
	甲斐遠く急いては逸る蝉時雨	依田 柚未	3年 森林科学科

入選、おめでとうございます。これからも、いい作品を作ってください。

次回は、秋に俳句と川柳、短歌づくりに取り組む予定です。よい作品の応募を期待しています。